

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	河川・水路改修整備事業	所管	下水道部 河川課
			TEL 2998-9375

事業の目的 (何の為に 行うか)	水路の氾濫による浸水被害防止を図る。
------------------------	--------------------

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	市内各河川・水路	対象とした数	95,000	m
		実際に 利用した数	55	m

活動の内容	(何を したか)	①崩壊の恐れのある河川施設の改修を行う。 ②治水事業計画を立案し、河川改修を行う							
		活動実績	項目名	河川・水路改修工 事	55	項目名		項目名	
				単位	m			単位	

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	9,667	8,692	19,025	56.1

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	降雨による河川・水路の氾濫	1年間に発生する河川・水路の氾濫による浸水被害回数	—	0	*****
			単位 回	単位 回	単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕				
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止				
	予算	現状どおり * 増額 減額 終了				

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕 終了				
	予算	現状どおり 増額 減額 終了				

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名	事業コード	担当部課	部課コード	TEL	2998-9375
080502	河川・水路改修整備事業	下水道部	河川課		
開始年度	昭和 25 年度	→	終了年度	平成 年度	
グループ	工務担当				

事業の種類別	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令
分野別計画・指針	所沢市環境基本計画			
関連・類似事業	雨水対策事業(下水道建設課)			
総合計画の体系	政策	第2章 安全・安心で快適な住みよいまち	施策	7節 河川・治水
			中柱	1 治水対策の強化
			小柱	*****
H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 40 位		実施計画における位置づけ… H19 <input type="checkbox"/> H20 <input type="checkbox"/>		
行政改革大綱における行動計画への位置づけ				
コード	3221	コード	3222	入札制度等の見直し
事業開始の背景	都市化の進展に伴い、保水機能を有する畑や山林が減少し、雨水が短時間に河川・水路へ流入し、氾濫が発生しやすい状況になったため、その対策を図るため事業が開始された。			

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)	利用数の考え方
	水路の氾濫による浸水被害防止を図る。	改修整備した河川・水路の延長
	対象(誰を、何を対象としているのか)	市内各河川・水路
	対象数	単位
	平成 18 年度	95,000 m
	平成 19 年度	95,000 m
	平成 18 年度	232 m
	平成 19 年度	55 m
	事業の具体的な内容及び実施方法	
	①崩壊の恐れのある河川施設の改修を行う。 ②治水事業計画を立案し、河川改修を行う	

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)	最終評価	<input checked="" type="checkbox"/> 一次評価	<input type="checkbox"/> 二次評価
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])		
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		
	平成19年度中に改善した点			
	コスト削減を考慮した多自然型河川改修に努めた。			

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		32,988	9,667	44,780
	決算(見込み含む)		31,663	8,692	
	(嘱託職員)	(臨時職員)	(人)	(人)	(人)
	正規職員人件費	1.25 人	11,500	1.10 人	10,333
	公債費				
	事業費合計		43,163	19,025	
	財源内訳	一般財源	43,163	19,025	44,780
		国・県支出金			
		受益者負担金			
		市債			
		その他			
	市民一人当たり(単位:円)		127.7	56.1	
	利用数一単位あたり(単位:円)		186,047.4	345,916.4	

⑥指	項目名	河川・水路改修工事	計算方法	改修整備延長	単位	m	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績						232	55	233	—
	成果分析	降雨による河川・水路の氾濫	1年間に発生する河川・水路の氾濫による浸水被害回数	回数	目標値	—	—	—	—	—
					実績	0	0	0	0	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2
					%	達成率	*****	*****		2

⑦一次評価	評価項目	現状評価	事業の対象を見直す必要性	評価項目	現状評価	現在の実施主体	見直しの必要性	
	対象設定	<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
	他事業との整理・統合	<input checked="" type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業 <input type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
	明らかとなった課題	河川・水路用地が狭く、工事施工が難しい状況や環境に配慮した河川改修への要望も多く、コスト高になりやすい。取り組みとしては、工事に伴う発生土等を他事業に転用するほか、工法や使用材料等を精査し、コスト削減を図ると共に、自然環境に配慮した改修に努める。						
	今期目標項目(何を)	平成20年度における目標設定	河川・水路改修整備工事の施工。	達成水準(どこまで)	改修整備延長233m。	時期(いつまで)	平成20年度内	
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])						
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
	評価理由	市内すべての河川・水路の改修整備を行うには相当な年月と膨大な費用を要するが、特に浸水被害の発生し易い箇所及び護岸の崩壊の恐れのある箇所については、住民の安全及び財産を守るため、重点的に整備促進を図る必要がある。						
	評価日	平成20年6月4日	記入者職氏名	河川課主幹 仲 幸次				

⑧二次評価	事後評価	平成21年度における事業の方向性						
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了						
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
	事前評価	部内優先順位… 3 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をすべきと評価する事務事業 <input checked="" type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	評価理由	浸水被害の発生しやすい箇所や護岸の崩壊の恐れがあるところは重点的に進められたい。また、水路の距離も長いことから、他の箇所については計画的に対応されたい。						
	評価日	9月1日						

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り	計画コード	181
	施策の体系	1-8災害の対策	施策の方向	1-8-1防災施設の充実
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	基本目標			
主要課題				
施策の方向				